ノード間の IPSec 用 CUCM の設定

目次

概要

この資料にクラスタ内の Cisco Unified Communications Manager （ CUCM ）ノード間の IPSec 接続を確立する方法を記述されています。

> **注:** デフォルトで、CUCM ノード間の IPSec接続は無効に なります。

前提条件

要件

Cisco は CUCM のナレッジがあることを推奨します。

使用するコンポーネント

この 文書に記載されている 情報は CUCM バージョン 10.5(1)に基づいています。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。 このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。 稼働中

のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

設定

情報を使用して下さい CUCM を設定し、クラスタでノード間の IPSec 接続を確立するためにこのセクションに説明がある。

設定の概要

それぞれが続くセクションで詳述される、このプロシージャに関連するステップはここにあります:

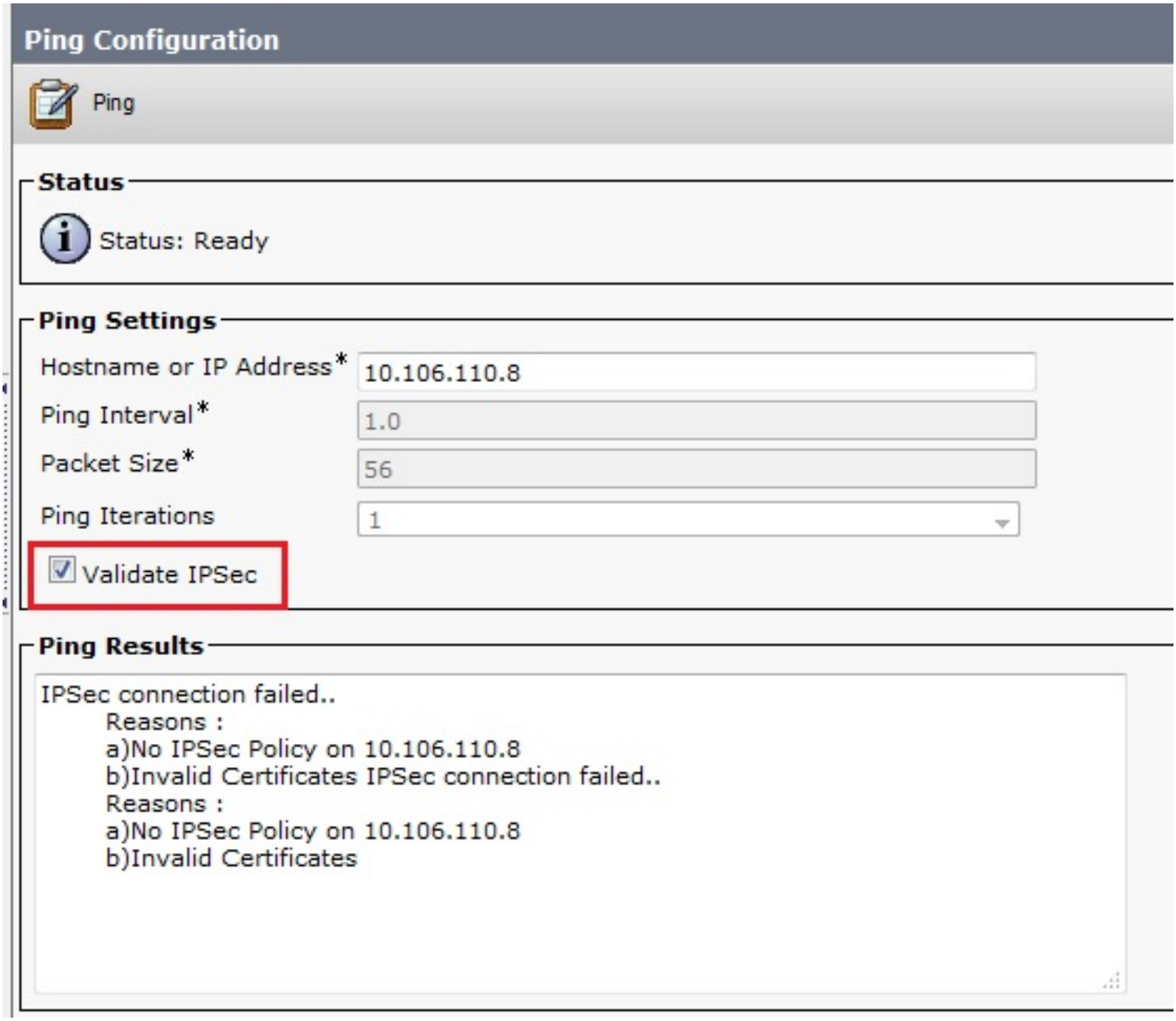
1. ノード間の IPSec 接続を確認して下さい。
2. IPsec 証明書をチェックして下さい。
3. Subscriber ノードから IPsec ルート証明をダウンロードして下さい。
4. Subscriber ノードからパブリッシャ ノードに IPsec ルート証明をアップ ロードして下さい。
5. IPsec ポリシーを設定して下さい。

IPSec 接続を確認して下さい

ノード間の IPSec 接続を確認するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. CUCM サーバの Operating System（OS）管理 ページに口グイン して下さい。
2. **サービス > PING** へのナビゲート。
3. 遠隔ノード IP アドレスを規定 して下さい。
4. **検証 IPSec チェックボックスを**チェックし、**PING を**クリックして下さい。

IPSec 接続がない場合、これと同じような結果が表示されます:



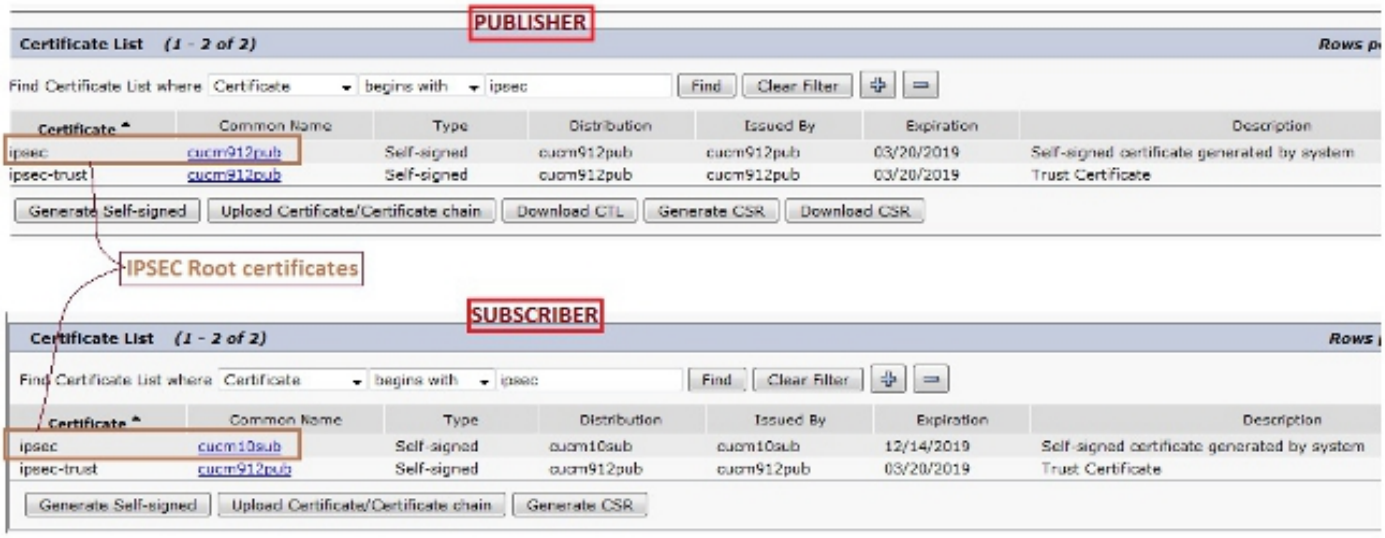
IPsec 証明書をチェックして下さい

IPsec 証明書をチェックするためにこれらのステップを完了して下さい:

1. OS 管理 ページにログイン して下さい。
2. **セキュリティ > Certificate Management** へのナビゲート。
3. IPsec 証明書のための検索 (パブリッシャ および サブスクライバ ノードに別々にログイン して下さい) 。

   注: Subscriber ノード IPsec 証明書は通常パブリッシャ ノードから視認できません; ただし、IPsec 信頼証明書として Subscriber ノードすべてのパブリッシャ ノード IPsec 証明書を表示できます。

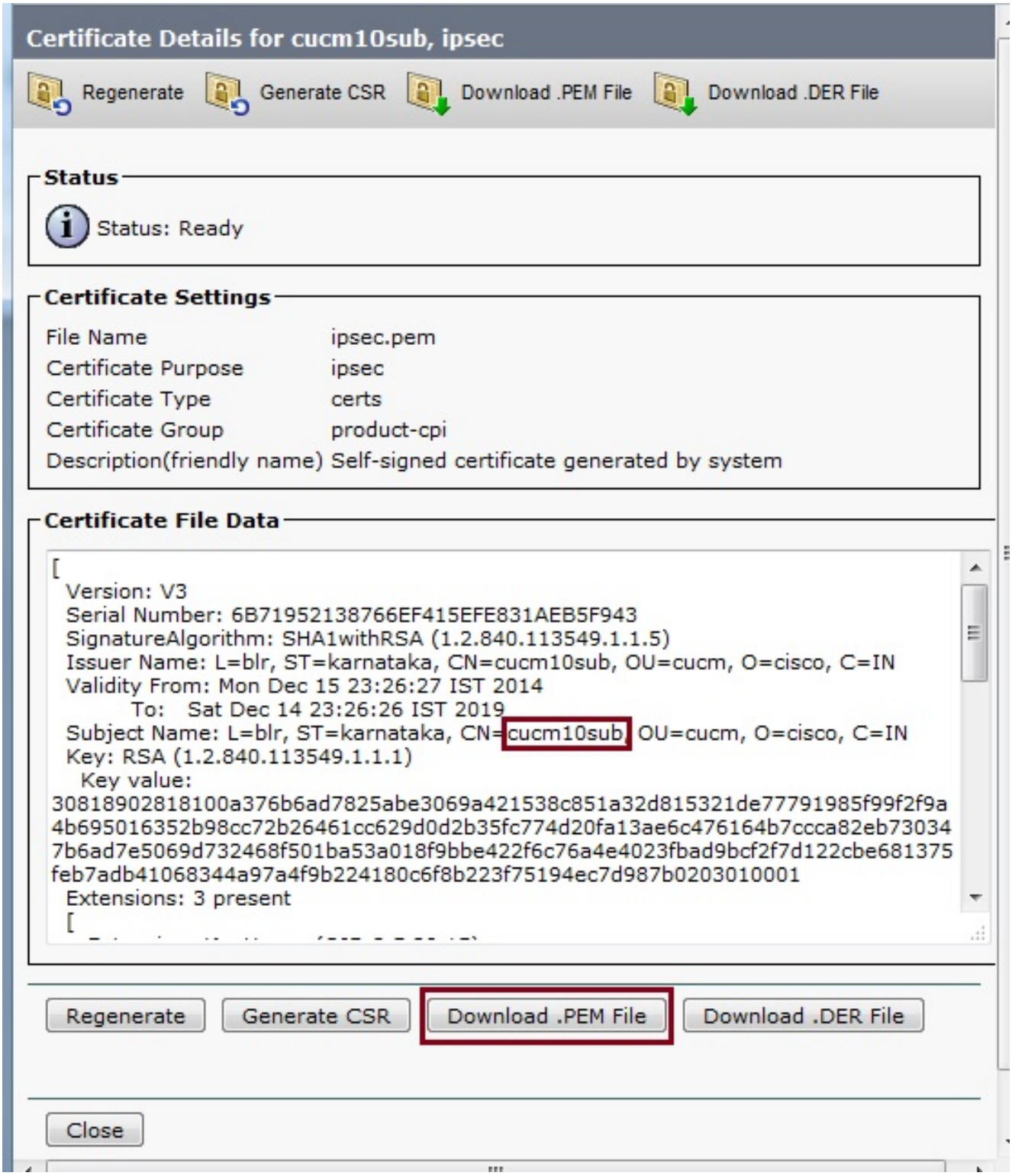
IPSec 接続を可能にするために、他のノードの ipsec **信頼**証明書として設定 される 1 つのノードからの IPsec 証明書がなければなりません:



サブスクライバからのダウンロード IPsec ルート証明

Subscriber ノードから IPsec ルート証明をダウンロードするためにこれらのステップを完了して下さい:

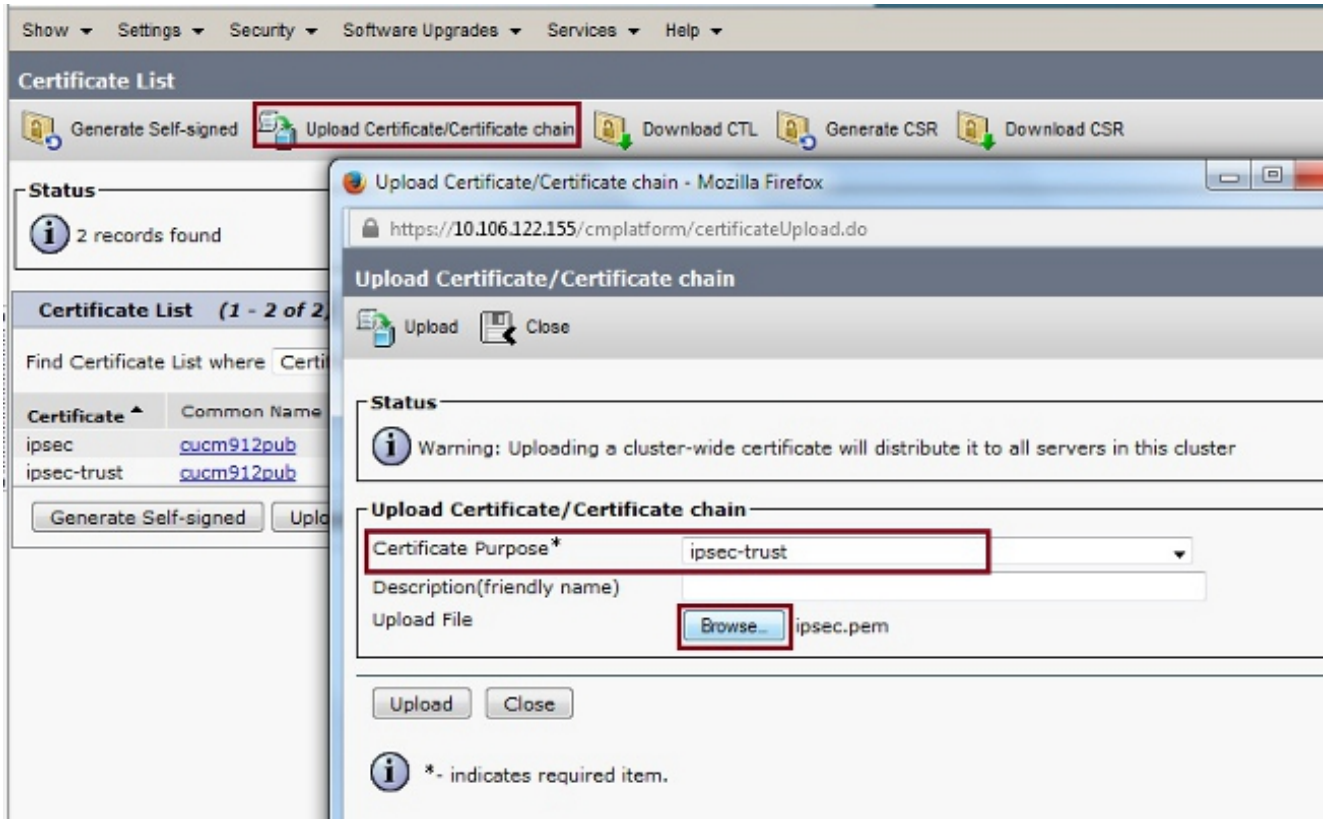
1. Subscriber ノードの OS 管理 ページにログイン して下さい。
2. **セキュリティ > Certificate Management** へのナビゲート。
3. IPsec ルート証明を開き、**.pem** 形式でダウンロードして下さい:



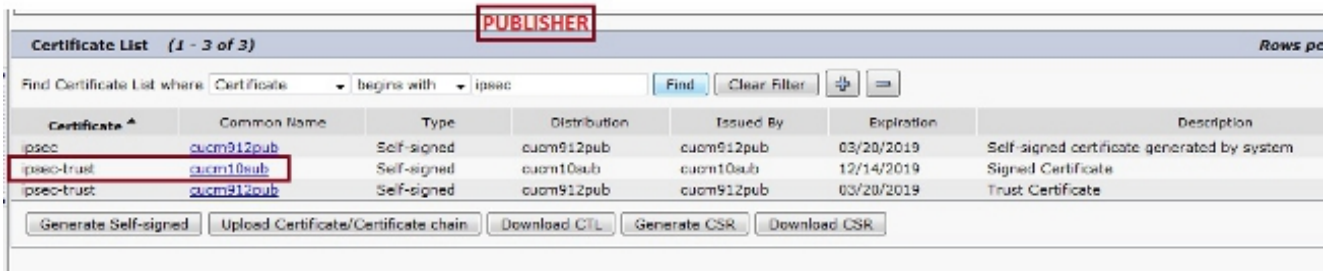
サブスクライバからパブリッシャに IPsec ルート証明をアップ ロードして下さい

Subscriber ノードからパブリッシャ ノードに IPsec ルート証明をアップ ロードするためにこれらのステップを完了して下さい:

1. パブリッシャ ノードの OS 管理 ページにログイン して下さい。
2. **セキュリティ > Certificate Management** へのナビゲート。
3. **証明書/証明書 チェーンを**『Upload』 をクリック し、ipsec **信頼**証明書として Subscriber ノード IPsec ルート証明をアップ ロードして下さい:



4. 証明書をアップ ロードした後、Subscriber ノード IPsec ルート証明が示されているように現われることを確認して下さい:



注: クラスタのマルチノード間の IPSec 接続を可能にするために必要となる場合それらのノードのための IPsec ルート証明をまたダウンロードして下さいパブリッシャ ノードに同じプロシージャによってそれらをアップ ロードします。

設定 IPsec ポリシー

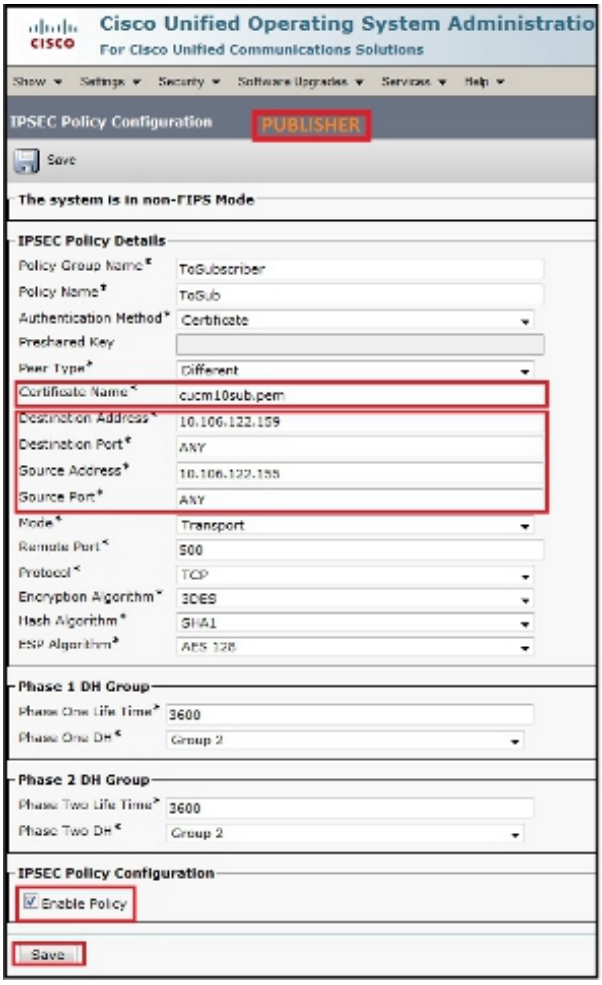
IPsec ポリシーを設定するためにこれらのステップを完了して下さい:

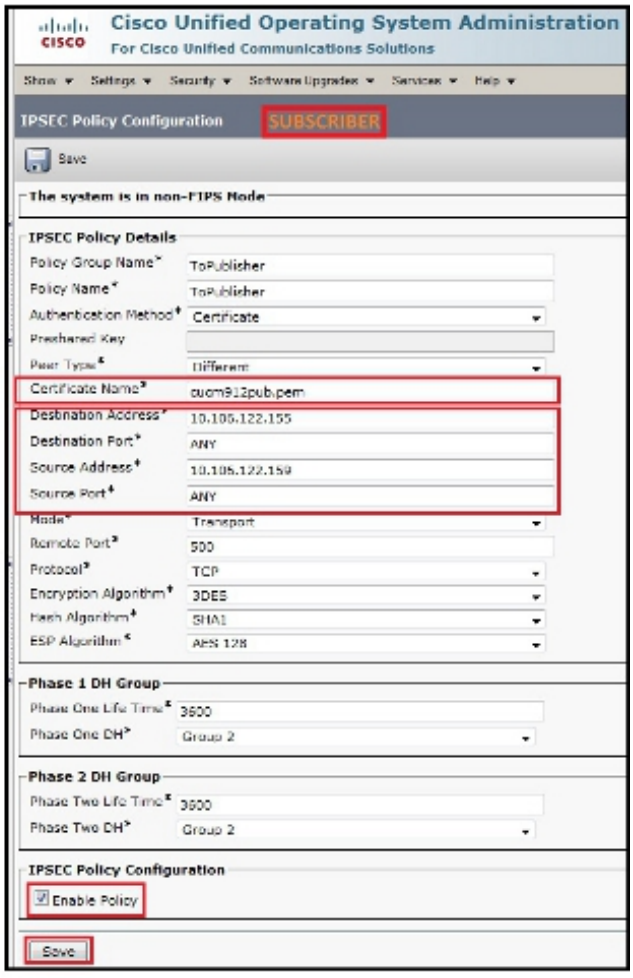
1. パブリッシャおよび Subscriber ノードの OS 管理 ページに別々にログイン して下さい。
2. **セキュリティ > IPSec構成**へのナビゲート。
3. IP および証明書の詳細を設定するためにこの情報を使用して下さい:

*****

```
PUBLISHER : 10.106.122.155 & cucm912pub.pem
SUBSCRIBER: 10.106.122.15 & cucm10sub.pem
```

*****





確認

ことノード間の IPSec 接続が確立されることを設定作業、そして確認するためにこれらのステップを完了して下さい:

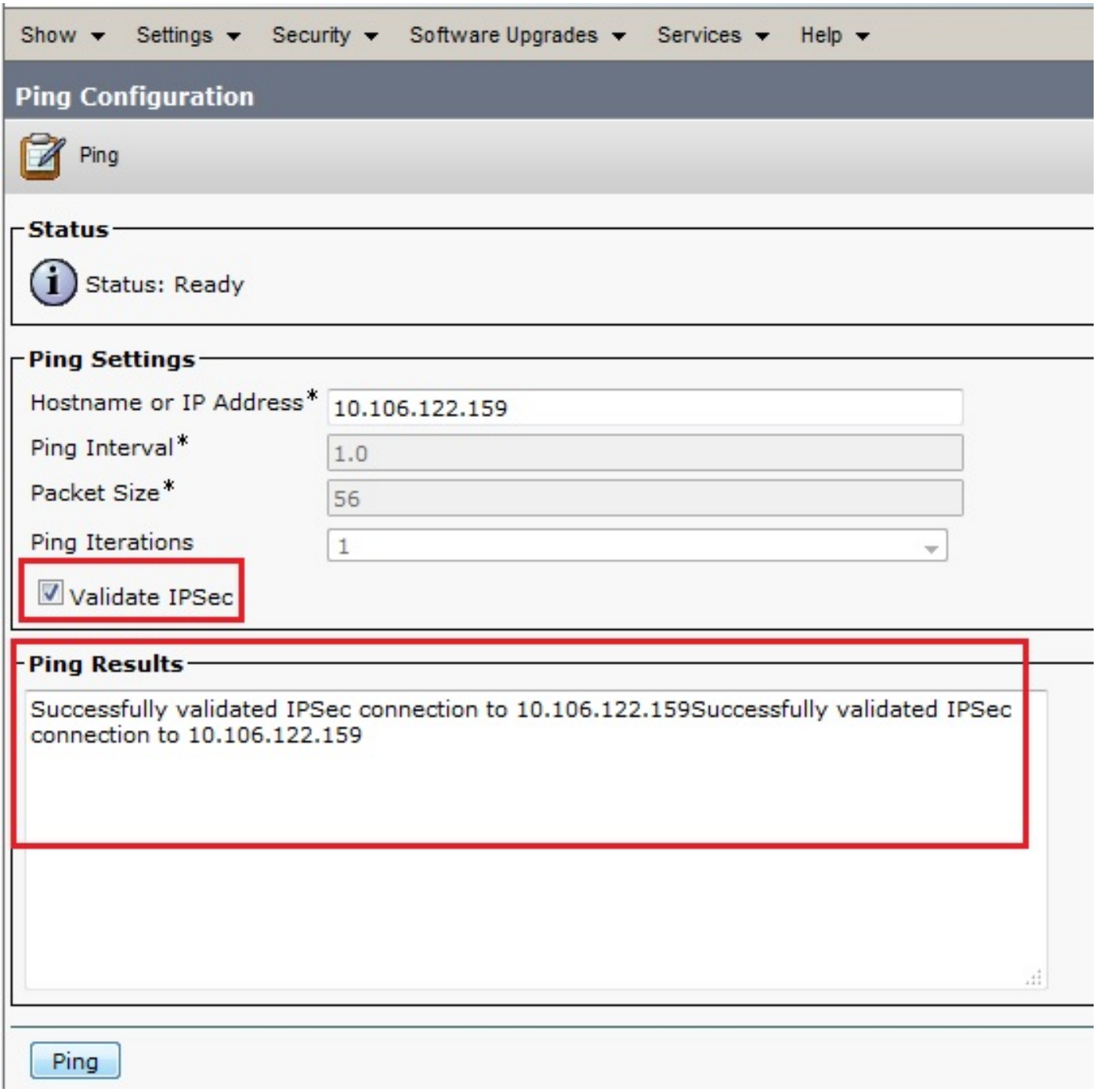
1. CUCM サーバの OS 管理にログイン して下さい。

2. **サービス > PING** へのナビゲート。

3. 遠隔ノード IP アドレスを規定 して下さい。

4. **検証 IPSec チェックボックスを**チェックし、**PING を**クリックして下さい。

IPSec 接続が確立される場合、これと同じようなメッセージが表示されます:



トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

関連情報

- Cisco Unified Communications オペレーティング システム管理 ガイド、リリース 8.6(1) – IPsec 新しいポリシーを設定して下さい
- テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems